

27 熊本県 熊本市

かわち よめ 河内おに嫁ブランド推進協議会

～おに嫁が生き生き暮らす町～



みかんの花摘みイベント



「ハワフルおに嫁」の口をつけた加工商品

経緯

- 熊本市西区河内町は海と山に囲まれ、みかん、芳野梨、海苔など農業・漁業が盛んな地域。「河内みかん」の産地。
- 当団体は平成24年より、「ハワフルおに嫁」のブランド名で加工品の開発販売や都市住民との交流事業等を推進。

活動の成果

- 「ハワフルおに嫁」の統一ブランド名の創出で、「ひと」「もの」「風景」等々地域の魅力の効果的なPRが可能となった。
- 交流事業やSNSによる情報発信を通して「河内町」の認知度も高まり、生産者の所得向上にも繋がった。

取組内容

- 河内町のファンづくりを目的に、都市部住民を招いてみかんの花摘み、みかんを使った料理等の体験活動を実施。
- 地域資源を活かしたドライフルーツ等加工品を開発(100種類)するとともに、「ハワフルおに嫁」の統一ブランドで販売。

今後の方針

- 営業活動や情報発信(メディア活用)、販路拡大等にチャレンジすることで地域の魅力の発信力を強める。
- 交流事業や人との繋がりを大切にし、心の交流を通して、長く地域を応援してもらえるファンづくりを行う。

河内おに嫁ブランド推進協議会

熊本市西区河内町河内1978-1 Tel: 096-276-0600 Fax: 096-276-0600

28 熊本県 八代市

やつしろ菜の花ファーム987

～い草・菜の花から始まる循環・環境農業～

菜の花関連商品



小学校の菜の花種まき



経緯

- 平成18年に、い草の低迷により生じた遊休地に、い草の緑肥用の菜の花を作付け、循環・環境農業に着手。
- 平成23年にい草農家等11名により当団体を設立。菜の花(9ha)を用いた商品作り、体験イベント等を展開。

活動の成果

- 菜の花畑は新幹線沿線の景観づくりに貢献し、蜂蜜、オイル、菜の花米、黒酢等菜の花関係商品を800万円売上げ。
- 菜の花の種まき、田植え等の体験農業に小学生・大学生等300名参加。ウォークラリー等交流イベントに250名参加。

取組内容

- 菜の花で蜂蜜を作り、菜種油を採取。油粕は自家製肥料にして田に施し、除草剤を使わず「菜の花米」を生産。
- この米を利用して黒酢等を醸造会社等と連携し商品化。菜の花畑での体験農業等を地元各学校と連携し実施。

今後の方針

- 熊本県の新幹線沿線(荒尾から水俣まで)の菜の花畑の拡大、菜の花関連商品の農商工連携によるブランド化。
- 熊本県・八代市と連携し海外からの観光客を招き、世界一のい草織りと農業体験ツアーなどを推進。

やつしろ菜の花ファーム987

熊本県八代市鏡町宝出57

Tel: 0965-52-0965 Fax: 0965-52-0965

29 熊本県 玉名市

しょうだいさん

小岱山薬草の会

～薬草食べて元気な町に～



薬草観察講演会



薬草七草粥無料ふるまい

経緯

- 小岱山山麓には多くの薬草が自生し活用されてきたが、近年薬草を活用する家庭が少なくなり、伝承が危惧。
- 当団体は、市の呼びかけに応じた市民グループで、自主的な薬草知識や活用法の啓蒙活動を平成19年に開始。

取組内容

- 公民館等での薬草料理教室の開催、薬草活用の菓子の商品開発、地元イベントでの薬草料理の提供等を推進。
- 市の公園内での薬草花壇作り、高齢者による荒廃みかん園の薬草園への転換と薬草茶等の製造への支援。

活動の成果

- 団体設立以降、継続的に薬草活用の普及活動が続けてきたため、薬草知識を持つ市民が増えてきた。
- 全国の自治体や団体から薬草活用の研修会の申し込みが入るなど「薬草のまち玉名」の認知度向上に寄与。

今後の方針

- 市内外の学校への薬草料理教室の拡大、地域おこし協力隊員と連携した薬草料理や菓子の創作・公開。
- 行政と連携して国の薬草特区として申請し、薬草を活用したより創造的な商品開発と事業化を図りたい。

小岱山薬草の会

熊本県玉名市繁根木75 サンビル1階 Tel : 080-2733-9428 Fax : 0968-73-3034

30 熊本県 菊池市

すいげんむら

NPO法人きらり水源村

法人番号 5330005002904

～地域住民によるNPO法人が廃校活用し都市農村交流推進～



里山体験(茶摘み)



水源食の文化祭

経緯

- 戦後間もない頃、地元住民総出で基礎づくりをした中学校の閉校にあたり、地元住民がその有効活用を検討。
- 都市農村交流の拠点施設として整備されることとなり、その運営母体となる当NPO法人を住民主体で設立。

取組内容

- 親子の自然農業体験と食育を組合せたイベント、郷土料理を伝承する「水源食の文化祭」など多彩な取組を実施。
- 高齢者の見守りを兼ねた宅配弁当、エゴマ生産と加工販売など地域課題を踏まえた活動を積極的に展開。

活動の成果

- 廃校活用施設の運営、里山体験活動の指導、郷土食の取組などで6名雇用を確保し、約300人の地元住民が収入も増えるなど地域経済の活性化に貢献。

今後の方針

- 農産物販売の営業・企画・技術開発等を継続的に行うため、農業法人の設立を地域で検討。
- 集客増を図るため大人(企業)の体験プログラムの開発。高齢化に対応する弁当や食材の宅配システムの確立。

NPO法人きらり水源村

熊本県菊池市原1600 Tel : 0968-23-4011 Fax : 0968-27-0107

31 熊本県 阿蘇市

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

法人番号 6330005008082

～日本一大きな「原っぱ」みんなで守ろう～



野焼きボランティア初心者研修



傾斜地での輪地切り

経緯

- 日本一広大な阿蘇の半自然草原が農林畜産業の衰退、農家の高齢化、後継者不足等で荒廃の危機に直面。
- 当財団は平成7年の発足。以来市民ボランティアによる草原保全に向けた野焼き、輪地切り等の支援活動を展開。

取組内容

- 全国からボランティアを募集。草原の大切さや野焼き・輪地切りの意味、ボランティアの役割等の研修受講を義務付け。
- 養成したボランティアを、人手不足や高齢化で野焼きや輪地切り(防火帯づくり)の持続が困難な牧野へ派遣。

活動の成果

- ボランティアは年々増加し、平成26年度は56牧野に延べ約2,000名が参加。約5000haの野焼き、輪地切りを支援。
- 環境省等とも連携し、野焼き再開に取組み、国立公園の草原景観と草原性の希少動植物の保全に大きく貢献。

今後の方針

- さらに多くの市民や団体・行政・企業等の理解・協力を得ながら阿蘇の草原を後世へ繋ぐ仕組みを築きたい。
- 地元と都市住民によるこの活動は沢山の出会いがあり、多くの人達に知恵を出してもらえよう取組みたい。

公益財団法人 阿蘇グリーンストック
熊本県阿蘇市小里656-1

Tel : 0967-32-3500 Fax : 0967-32-3355

32 熊本県 合志市

「合志あぐっと！村」運営協議会

～ICTを活用した農村地域の情報発信活動～



ケーブルテレビ番組制作



地産地消料理教室

経緯

- 当協議会は、地元NPO法人を中心に消費者・生産者・加工業者・流通販売業者等の団体が構成する組織。
- 観光資源に乏しい合志市の隠れた魅力である食と農のブランドイメージ構築のため、人と地域の魅力をSNS等で発信。

取組内容

- 農業の現場等を紹介するケーブルテレビの番組制作、地産地消料理教室、種まきや収穫など農業体験会等を推進。
- 農業シンポジウムの開催とその模様のインターネット配信。その他SNSを活用し地元開催イベント等を情報発信。

活動の成果

- 農業体験ツアー、農村交流見学会等の活動状況を様々なメディアで発信することで、都市と農村の交流を促進。
- 農業とICT利活用の組み合わせは、的確でスピーディーな情報発信力を育て、地域内外の他団体との連携に繋がった。

今後の方針

- 市民の理解も深まり、ICTの利活用、Ustream、ケーブルTVの番組制作による情報発信をさらに発展させたい。
- 地元の学校、農業関係者等との協力関係が構築されつつあり、情報発信のプラットフォームとしてネットワークを拡大。

「合志あぐっと！村」運営協議会
熊本県合志市竹迫2140

Tel : 096-248-1445 Fax : 096-248-1196

33 熊本県 美里町

みずかみさこ

水上迫生活研究グループ

～スコープの音と共に、集落一丸の地域活動～



なべぶた楽団(楽器はスコープ、鍋等)



にわか劇(その時期にあったテーマで講演)

経緯

- 集落の女性の輪を広げ、生活改善活動に取組むため、昭和57年に水上・迫の2集落の女性15名で当団体を結成。
- 食生活改善、共同加工販売等に取り組む中で、地域住民も参加する楽団の結成など集落全体の活動に発展。

取組内容

- ほうき草等の共同生産・加工販売、地元高齢者への昼食サービス、地元小学校での郷土料理の体験活動を実施。
- 住民参加の「なべぶた楽団」の演劇とスコープ三味線の公演、町の「フットパス」来客者へ軽トラカフェ等で昼食を提供。

活動の成果

- 高齢者サービス、世代間交流、消費者交流等積極的な取組は地域住民に評価され、活動への協力者も多い。
- 演劇活動は、町内外から公演依頼も多く、課題提案や慰労的役割など意義ある活動と高い評価を得ている。

今後の方針

- 味噌づくり等郷土に根ざした加工技術や料理の継承活動、野菜や工芸品づくりなど収入に繋がる活動の強化。
- 高齢化に伴う野菜出荷の集配送システムづくりの提案、地域の良さを活かしたフットパス等都市農村交流の強化。

水上迫生活研究グループ
熊本県美里町畝野

Tel : 0964-46-2114 Fax :

34 熊本県 美里町

みさと

美里フットパス協会

～フットパスを活用した農村の活性化～



小崎棚田コース 雨でも実施できる



手づくり郷土料理と一緒に食べる

経緯

- 当町は熊本市から30kmほどの距離にある中山間地域。棚田や江戸期築造の石橋などの景観が多く残る。
- 滞在時間の長い交流人口増による活性化を図るため、農村景観を散策してもらうフットパスに平成23年に着手。

取組内容

- コース設定のための調査、ルートマップ・道標の作成、関係する地域への説明会などを実施し、4～8kmの15コースを設定。
- 各コース年1回の体験イベントを開催。ガイド付きの散策、郷土料理の昼食等を縁側で食する「縁側カフェ」を提供。

活動の成果

- 来訪者が訪れることで、住民に誇りが生まれ、道の草刈りや遊休棚田の再生を積極的に行うなど意識が変化。
- 平成25年に全国フットパスサミットを当町で開催。フットパスの先進地域として認知され、九州各県50地域に波及。

今後の方針

- 平成26年に「フットパスネットワーク九州」を当協会が中心となって設立。フットパスに取組もうとする団体の指導、「コース認定制度」の創設で更なる普及を図る。
- 九州オルレ、九州自然歩道とも連携し、歩く文化の振興も目指す。

美里フットパス協会

Tel : 0964-47-0137 Mail:mfa@town-misato.net hp:misatojimdo.com

35 熊本県 高森町

ひごむらさきブランド化研究会

ひごむらさき～肥後一番の旬の味～

左:ひごむらさき、右上:東京での販売活動、右下:レシピ審査



出荷査定会



経緯

- 赤なす新品種「ひごむらさき」を当町で作付開始。順調に生産は増加したが、知名度の低さ等で単価が下落。
- 平成20年に当研究会を設立し、高級なすとしてのイメージ定着や販路拡大を図るための活動を開始。

取組内容

- 県内外の物産展等への参加、メディアでのPR、大消費地での販促活動、食品メーカーと連携した食育体験ツアー等実施。
- 野菜ソムリエ監修により、アクが少なく甘みがあり、生でも食べられる特徴を活かした料理のレシピ集を作成・配布。

活動の成果

- 生産者のブランド化意識の向上、九州各県や他地域にも「ひごむらさき」の名が浸透し始めるなどの効果。
- 他の作物の生産者にも同様のブランド化の意識が芽生え、町全体の農業の経営安定に向けた意識改革に寄与。

今後の方針

- 夏休みやゴールデンウィーク、シルバーウィーク期間の食育イベントや収穫体験の実施により幅広い年代での認知度を拡大。
- 社員食堂や学校給食での使用について営業活動を行い、知名度の向上と生産者の経営の安定化を図る。

高森町役場 農林政策課

熊本県高森町大字高森2168番地 Tel:0967-62-1111 Fax: 0967-62-1174

36 熊本県 高森町

あそなんごうひ

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会

神々が宿る木～阿蘇南郷檜～

阿蘇南郷檜の山林



テスト出品 大径材は立米50万円以上の高値



経緯

- ナンゴウヒは、阿蘇一帯に分布が限られる高品質プレミアム材。枝打ち等の育成が難しく、高品質な林分の減少が懸念。
- ナンゴウヒを「阿蘇南郷檜」としてブランド化し、林業収入向上と地域林業活性化のため当協議会を平成26年に設立。

取組内容

- 県内外から多数の購入者が参加する銘木展示大会に、知名度の向上等を目的に会員が育てた原木をテスト出品。
- ナンゴウヒは適時適正な枝打ちや間伐が必要であり、指導林家を講師に枝打ち方法の研修会を実習形式で実施。

活動の成果

- 原木のテスト出品の単価は概ね高値(4.1万円/㎡)となり、PR効果に加えて会員の育成意欲の高揚に繋がった。
- 地域資源を見つめ直す契機となるとともに、関係機関・団体の連携構築によりスピード感を持った活動が可能に。

今後の方針

- 間伐時の切り株や、枝葉から抽出する精油(アロマオイル)の商品化や御神木の特性を活かした「神棚」製作を企画。
- 需要者に対して生産現場の見学会を開催し、寺社仏閣の建築用材としてのPRなど認知度の向上に取り組む。

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会事務局

熊本県高森町大字高森2168番地

Tel:0967-62-1111 Fax: 0967-62-1174

37 熊本県 甲佐町

みやうちすみがま

宮内炭窯生産組合

～炭焼きで里山を守り、使い、自慢する！～



手づくりの炭焼小屋



集落の暮らし自慢イベント クラウンバザール

経緯

- 緑川上流域に位置する中山間地域。産業衰退による人口流出等で自然環境の維持が困難となる。
- 地域の里山保全・振興を図るため、地域住民により当団体を組織。平成19年より炭焼きの復活等の活動をスタート。

取組内容

- 手づくり炭焼小屋を拠点に、里山での木材切り出し、搬出、炭窯作業、製品梱包の作業を地域住民協働で実施。
- 炭焼きの他、耕作放棄地での芋栽培、山暮らしの体験ツアー、地域NPOの協力で都市農村交流イベントを開催。

活動の成果

- 炭焼きは月1～2回(1回450kg程度の炭)生産・販売。小規模産業が創出され、活動を通じて里山が良好に保全。
- 体験ツアーは年20回程度開催、バザールは春、冬に開催し、全国から2,000名程度来場するなど都市農村交流が促進。

今後の方針

- 高齢者でも里山管理が可能な技術として、当団体の炭窯のつくり方や焼成技術をインターネット等により普及。
- 当地の暮らしの豊かさをインターネット等を通じて都市部若者層へ自慢することで、若者の移住定住を目指したい。

宮内炭窯生産組合

熊本県上益城郡甲佐町小鹿358 E-mail : boshidora@gmail.com

38 熊本県 山都町

やまと

NPO法人 山都のやまんまの会

法人番号 8330005009021

～山都町の「ごはん」「お母さん」「そのまんま」～



やまんマルシェ



福岡市天神で「山都よかとこ宣伝隊」

経緯

- 平成24年に発足した町づくりを考える山都町の女性の会。メンバーは、地元の商店・農家・専業主婦・アーティストなど。
- それぞれの活動フィールドの垣根を超え楽しみながら前向きに町づくりをしていくことをモットーに活動中。

取組内容

- 当町の「小一領(コイチリョウ)神社」を、縁結びの神社「恋一路神社」として認知度を高めるため、参道でマルシェを開催。
- 休耕地を利用し有機農業を展開。パプリック・柚子胡椒・各種ジャム等の加工品開発を行い雇用を創出。

活動の成果

- マルシェは毎年開催し、地元食材の食事や農産品、恋愛に因んだグッズ販売など多くの露店が並び1000人以上集客。
- 福岡都市圏での当町のPRイベントで風景・景観の写真パネル展示、加工品等を紹介し、都市住民との交流促進。

今後の方針

- 次世代を担う子供たちに焦点をあて、リーダーになり得る人材育成を目的として「山都のまんま学校」を実施。
- 成熟・効率化社会の中で見失われがちな「食」「農」「自然」「暮らしの知恵」の継承のため体験交流の場を提供。

山都のやまんまの会事務局

熊本県上益城郡山都町浜町239-3 Tel : 0967-72-1723 Fax : 0967-72-1724

39 熊本県 山都町

みずまさり

水増ソーラーパーク管理組合

～再エネをきっかけに 幸せ実感日本一の集落へ～

水増ソーラーパークイメージ図



稲刈イベント



経緯

- 水増集落の住民が管理していた3.4haの傾斜地を有効利用するため、県のメガソーラー候補地の募集へ登録。
- 応募者の中から唯一、地域再生の提案を行った企業の誘致を集落側が主体的に決定。平成26年2月運転開始。

取組内容

- 年間500万円の借地料、発電設備の管理費300~400万円/年に加え、棚田米のブランド化等のために発電収入の約5%の500万円/年を還元。
- 当組合と企業が包括協定を締結。棚田米ブランド化、加工品開発等を支援。

活動の成果

- 稲作の面積が3haから5haに拡大。完全有機の棚田米「水増の玄米」0.5haの栽培を開始するなど農業生産が活性化。
- 棚田の稲刈イベントでは、50人の都市住民が参加するなど交流が促進。

今後の方針

- 集落をコミュニティの単位として位置づけ、農業と再エネを組み合わせた新たなブランド化とデザイン化のビジネスモデルを構築。
- 中山間地における地産地消のエネルギーのモデル化を目指す。

Take Energy Corporation 株式会社

熊本県菊池郡菊陽町原水1157-3 Tel : 096-233-1580 Fax : 096-233-1581

40 熊本県 山都町

すげ

菅地域振興会

～都市住民との交流で 山里を守り 地域を振興～

山里のやすらぎの景観



助け合いの自然な気持ちで田植え



経緯

- 菅地区は人口200人ほどの山間集落。自然景観に恵まれるが、緑川の溪谷に面し、「陸の孤島」とも呼ばれていた。
- 当会発足時は溪谷の架橋実現に向け活動。平成5年の架橋着工以降自主的・主体的なむらづくり活動を推進。

取組内容

- 平成8年から棚田オーナー制、17年から茶園オーナー制を運営。11年に農産物直売等を行う交流館を建設。
- 平成22年に農家の「縁側カフェ」、23年に廃校利用の「里山レストラン」をスタート。27年交流館をリニューアル、カフェ等を開設。

活動の成果

- 棚田オーナー制は平成27年に20年目を迎え、14組が参加。都市住民との交流を通じ、棚田や自然景観を維持・活用。
- 棚田オーナー制等の取組みを契機に、外部の応援団が形成。熊本市内での直売活動が開始される等新たな展開。

今後の方針

- 山里の自然・景観、棚田、大橋などの観光資源を維持・活用、都市住民(棚田オーナー)との交流を軸に、交流館を拠点とした情報発信に努める。
- 他地域との交流機会には積極的に参加、菅のPRと相互研鑽に努める。

菅 地域振興会

熊本県上益城郡山都町菅313 Tel : 090-4510-1906 Fax : 050-1393-6244

41 熊本県 五木村

いつきむら

五木村にんにく生産組合

～6片にんにく生産による特産品開発～

ホワイト6片にんにく



スーパー店内での加工品販売状況



経緯

- 冬場の作物として、にんにくの導入を検討。JA球磨中心にホワイト6片種の試験栽培を球磨地域の3か所で実施。
- 五木村のみが栽培に成功し、この品種にこだわって栽培を開始。当組合は平成21年に設立。5戸の農家で構成。

取組内容

- 平成25年度にホワイト6片ニンニクの本場である青森県に視察研修。収穫から販売までの一連の流れを学んだ。
- 研修の成果を踏まえ、本格的に栽培を始め、黒にんにく・にんにく醤油や酢漬けなど加工品の試作にも着手。

活動の成果

- ホワイト6片種は県内では唯一当組合のみが栽培。栽培面積25a、生産量1t程度で少量ながら、年々増加。
- 平成26年から、加工品を熊本市や福岡市のスーパーで販売開始。商品の認知度も上がり、売れ筋商品も出てきた。

今後の方針

- 協同のにんにく乾燥機械を購入し品質の安定化も図った。今後も6次産業化に取り組み生産者の所得向上と五木村の特産品作りに寄与したい。
- 村内の生産者を増やすことで、産地化を目指していく。

五木村にんにく生産組合

熊本県球磨郡五木村5434

Tel: 0966-37-2477 Fax: -

42 熊本県 球磨村

いなか たいけんこうりゅうかん

田舎の体験交流館さんがうら運営委員会

～大学との連携・協働によるムラの宝の発掘・磨き上げ～

遊休棚田を活用した花いっぱいボランティア運動



棚田の稲刈・掛け干し体験



経緯

- 当運営委員会の活動エリアである三ヶ浦地区は球磨川の左岸側に位置する戸数260戸の山間地域。
- 平成23年、廃校となる小学校が交流施設として改修され、当施設を地元で運営すべく、当運営委員会を設立。

取組内容

- 大学と連携し、地域資源の調査とマップ等作成。遊休棚田を活用した花植栽、竹灯籠の景観を楽しむイベント等開催。
- 稲刈り・吊し柿・味噌作りや山菜・梨・イチゴ狩りツアー、特産フルーツを使ったジャム、パイ焼き等の加工体験を提供。

活動の成果

- 多彩なイベントの毎月開催で、リピーターによる利用者が大幅増加。インターネットによる情報発信の強化も集客増に貢献。
- 本物の田舎体験メニューや季節ごとに表情を変える自然を活かした散策ルートの開発で集客増と滞在時間を確保。

今後の方針

- ムラの文化的景観も楽しみ歩くフットパスや、より癒し効果の高い森林セラピーの要素を取り込んだプログラム構築。
- ホームページの充実による情報発信の強化。地域農林家と消費者との交流促進や販売促進に向けたネットワーク化。

球磨村役場 企画振興課

熊本県球磨村大字渡丙1730番地

Tel: 0966-32-1114 Fax: 0966-32-1230

43 熊本県 あさぎり町

ちゅうさんかんまつお

中山間松尾集落

～天空に咲く 遠山桜～

集落の象徴 遠山桜



集落民による獣害防止柵の設置状況



経緯

- 当集落は、標高350m、戸数4戸の山間集落。急傾斜地で栗や梨、茶を生産。茶畑の一本桜「遠山桜」が有名。
- 平成11年より中山間直接支払に取組み、自然・景観を活かしたイベント、ワビ加工品作り、鳥獣害対策等を推進。

取組内容

- 一本桜の開花期間中に祭りを開催し、地元農産物を販売。ワビ加工は地区に伝わる製法で酢漬けを製造販売。
- 猿、猪、鹿の被害は深刻であったが、守るべき農地を団地化し、防護柵と電牧線による被害防止を徹底。

活動の成果

- 桜祭りは集客5千人以上、販売金額100万円以上の年もあるなどの成果。ワビ加工品は町の推奨商品にも認定。
- 防護柵等を設置した守るべき団地では被害が全て無くなり、ワビの保護や栗の新植(累計3ha)が可能となった。

今後の方針

- 桜祭りを町全体のイベントに規模拡大し、町全体の活性化に繋げたい。ワビの酢漬けの更なる販路拡大、販売促進。
- 農地の団地化等による鳥獣害対策の先進地として、他地域からの研修などを受け入れ、交流人口を増やしたい。

中山間松尾集落

熊本県球磨郡あさぎり町須恵7512-19 Tel : 0966-45-5169 Fax : 0966-45-5169